

平成30年度 研究概要

研究の趣旨

本校教育目標及び基本方針に基づき、日常の教育活動を充実強化するために、教育課程改善に直結する分かりやすい実践研究をする。
そのため、主題と実践内容を分かりやすくしぼり、授業のねらい、授業計画及び実践を中心とした研究にする。
併せて、指導者の知的障害教育の基礎基本の習得、再確認と資質を向上させる。

I 全校研究について（全職員）

1 研究主題

「合わせた指導」の基本を徹底した授業づくり（2年計画／2年次）

2 研究目的

知的障害のある児童生徒の学習上の特性を踏まえ、効果的に学ぶことができる指導の形態である「合わせた指導」の基礎を押さえ、指導の改善・充実に図る。

2 研究内容

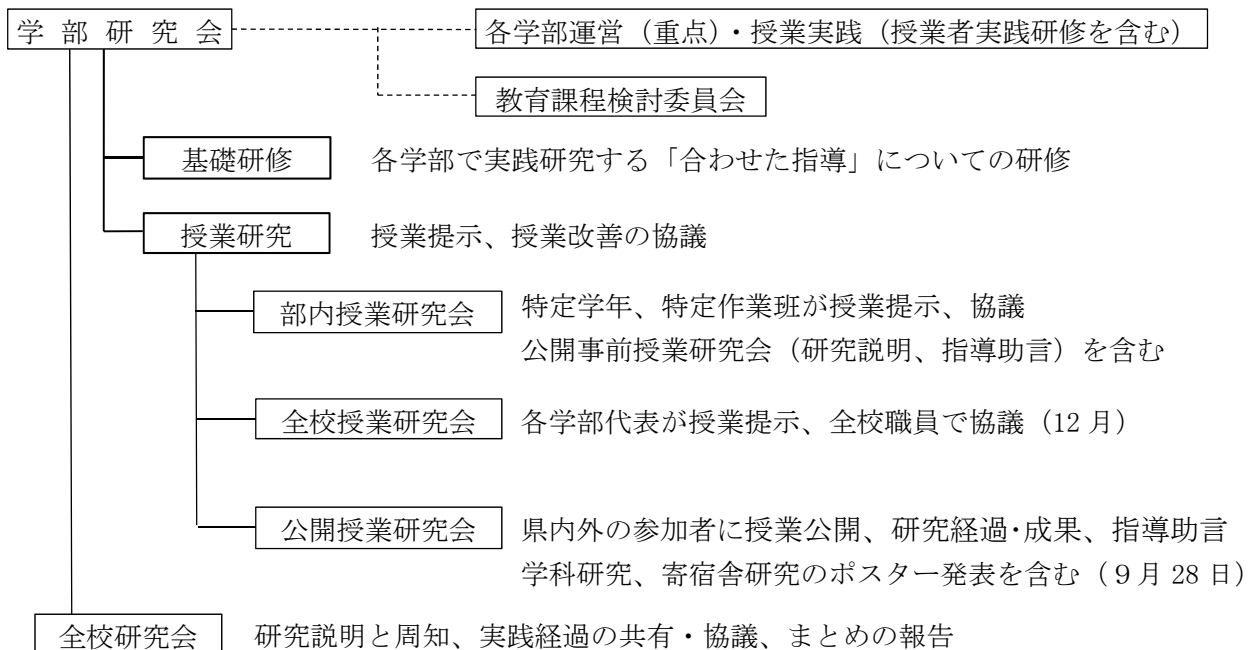
（1）研究仮説

「合わせた指導」の基本を押さえ、その基本要素を指導計画から指導内容・指導方法・手立てを適切に設定・評価することで、指導の改善・充実に図られるだろう。

（2）研究の内容及び方法

「合わせた指導」の基礎を全職員で理解し、指導の改善・充実に図るための基礎研修の実施と、授業研究を行う。

（3）研究組織



3 取組の実際

(1) 1年次の取組

- ①基礎研修 「合わせた指導」の基本を学ぶ、再確認する研修会の実施
- ②学部授業研究 授業のねらい、指導計画から実践の検証を中心として実施
- ③授業者実践研修 全ての職員がT1として、学習指導案作成、授業提示、授業改善協議の実施
- ④成果と課題

学部	成果	課題
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ○「合わせた指導」の研修の成果を全員で確認 ○記録票の改善による、次時の改善点の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ●「合わせた指導」の研修の成果を生かした授業実践 ●一人一人の授業力の向上 ●授業者実践研修の成果や課題の共有 ●目標の妥当性、成長につながる評価
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ○「合わせた指導」の基本を踏まえ、重点事項を学部で設定、共有し授業研究会を実施（具体的な改善策へ） 	<ul style="list-style-type: none"> ●「合わせた指導」の基本を生かした授業実践及び授業研究会のもち方 ●重度の生徒への対応(学習内容、教師の関わり方の検討)
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ○「合わせた指導」の基本を学んだことによる作業製品の質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●学部全体としての基本を生かした授業実践(実現できない作業班もあった)と授業改善に導く授業研究会 ●卒業後の目指す姿の実現に向けたねらいの設定

(2) 今年度（2年次）の取組

昨年度の取組を踏まえ、職員が課題としていることを明確にするために、「合わせた指導」を行う上で大切にしたいことや課題となっていることについて、自由記述によるアンケートを行った（資料参照）。その結果、学びの主体である児童生徒の学び方に焦点を当てた記述が多く、中でも児童生徒が自ら学び、次の学びにつなげる力の育成やその力を育むための児童生徒の自己評価の在り方が課題になっていることが明らかになった。これらの課題は、学習指導要領改訂の趣旨に沿うものと考え、今年度は、新しい学習指導要領の視点を踏まえ、指導・改善を図り、授業の充実を目指すこととした。

(3) 取組の実際

- ①基礎研修
 - 基礎編
 - ・「合わせた指導」の基礎の確認（「授業改善プロジェクト」ハンドブックの活用）
 - ・授業の基本の確認（「あきたのそちから」等の活用）
 - 実践編
 - ・模擬授業、ビデオを活用した授業研究会等、より実践的な研修
 - 学習指導要領研修会
- ②授業研究
 - 児童生徒が自ら学び、次の学びにつなげる力の育成
 - ・児童生徒が自ら学び、次の学びにつなげる力を育む視点から、実態に応じたためあての提示や振り返り活動の充実等の学習過程の見直し、改善を行う。次の学びにつながる掲示物や板書、ワークシートを活用した授業展開の工夫を図る。
 - 指導と評価の一体化及び授業者間の連携を目指した単元・題材計画案の作成
 - ・評価を指導の改善に生かすことができるように、単元・題材ごとに、目標と評価規準及び学習活動に対する具体的な評価規準を設定した単元・題材計画案を作成する。単元・題材計画案の検討・作成は、授業ベースミーティングとして行う。
 - ・単元・題材計画案に授業者実践研修を組み込むことで、授業者全員で改善の視点を共有し、主体的に授業改善できるようにする。

○中心単元・題材検討

- ・児童生徒の自立した生活や、将来の社会生活及び職業生活に必要な学習内容が計画的に実施されているかを教育専門監等第3者の視点を加えながら授業者間で検討・評価・改善する。

(4) 研究の評価について

①授業づくりの評価

- ・合わせた指導の基本を徹底した授業づくりについて、中心単元・題材検討会、授業ベースミーティングにおいて検討・評価する。
- ・「授業デザイン・授業実践チェックリスト」を活用して評価を行う。
- ・学習過程の質的な改善に関する評価は、先進的な取組を参考に行う。

②児童生徒の変容の評価

- ・単元・計画案を活用し、内容等のまとまりの中で児童生徒の変容の評価を行う。(教員が評価)
- ・学習活動で自己評価や相互評価を積極的に行い、児童生徒自身が学習の成果を振り返り、よりよい学習の在り方を考えられたか評価する。(児童生徒が自己評価)

II 学科研究（職業科職員）

研究主題

教育課程の改善を通じた「実践的な職業教育の取組」～職域に対応した指導内容、実習の導入～

III 寄宿舍研究（寄宿舍職員）

研究主題

生活自立に向けた個別の「生活実習」の実践

IV 研究計画

月	実施内容		授業研究会
	全校	学部・学科・寄宿舍	
4	○第1回全校研究会 ・研究の全体計画の提示		
5 6		○学部研究会 ・学部研究の提示 ・中心単元・題材検討会（個別の指導計画と年間指導計画の整合性確認） ※授業者間のベースミーティング、授業者実践研修は随時行う。 ○学部研修会（基礎編）	○公開事前授業研 中：6 / 19 ・一次案内 （6月下旬）
7 8	○第2回全校研究会 ・取組の報告 ・公開研究会に向けて ○全校研修会（学習指導要領）	○学部研修会（実践編）	○公開事前授業研 高：7 / 19 ・二次案内 （8月下旬）
9	○公開研究会（9 / 28） ・小中高：授業提示 ・学科・寄宿舍：ポスター発表	○学部研究 ・中心単元・題材検討会（前期の評価→後期の改善）	○公開事前授業研 小：9 / 10
10 11 12		○学部研究 ・公開研の振り返り ・公開研の成果を学部内授業研究会、全校授業研究会へ	○学部内授業研究会 ○全校授業研究会
1	○第3回全校研究会 ・研究のまとめ ○全校研修会（学習指導要領）	○学部研究会 ・中心単元・題材検討会（評価）	
2	○次年度研究の確認		

<学習指導要領改訂の方向性から整理した本校研究の取組>

